

遼寧だより(令和5年12月)

■ 12月の実施事項について

- 12/1 (金) 師範大学日本語学科との交流①(授業見学)
- 12/2 (土) 師範大学日本語学科との交流②(課外活動) …(1)
- 12/7 (木) 仙台大学プログラムに参加①(中国茶道)
- 12/15 (金) 仙台大学プログラムに参加②(剪纸) …(2)
国際教育学部の活動(中国陶芸)に参加
- 12/17 (日) ~20 (水) 県議会訪中に随行 …(3)
- 12/21 (木) 期末考査

(1) 師範大学日本語学科との交流(授業見学、課外活動)

瀋陽師範大学には外国語の専攻学科があり、現在163名の学生が日本語を勉強しています。今回は日本語学科2年生の授業を見学させていただき、グループワークの時間には学生たちと実際に会話することができました。皆さん日本語が堪能で、私が日本語で質問しても難なくコミュニケーションでき、学生たちの日本語レベルの高さを実感しました。

翌日、課外見学として瀋陽故宮と老辺餃子館へ行きました。瀋陽故宮は清朝の前身である後金王朝を建国したヌルハチ、ホンタイジが居住していた皇居で、ユネスコの世界遺産にも登録されています。壮大な宮殿や広場、色鮮やかな屋根装飾など非常に興味深かったです。その後、昼食のため老辺餃子館を訪れました。老辺餃子館は瀋陽の老舗餃子店の1つで、国内外で有名なお店です。評判通り大変おいしかったです。

日本語学科の学生たちとの交流を通して、私も中国語の勉強を頑張りたいと改めて思いました。



授業見学



瀋陽故宮にて

(2) 仙台大学プログラム参加について

12月には仙台大学から1か月間の短期留学生が来ており、中国文化に関する様々なプログラムがありました。瀋陽師範大学の先生方のご厚意で、日本人留学生も活動に参加することができました。

12月7日は、師範大学で茶道を教えておられる先生にご指導いただき、中国茶道の方式で実際にお茶を淹れる体験をしました。茶葉の種類や茶器の扱い方など細かく教えていただき大変勉強になりました。

12月15日は、中国の伝統芸術の1つである剪纸（切り絵）を教えていただきました。1枚の紙を折ったり切ったりして作品を作り上げていくのはとてもおもしろかったです。中国では春節や結婚式の際に、窓や扉に装飾として用いられ、人々の生活に根付いている伝統文化に触れることができ大変興味深かったです。



中国茶道



剪纸

(3) 県議会訪中について

12月17日から20日にかけて、富山県から山本県議会議長、宮本議員等4名が訪中し、瀋陽市や大連市を訪れました。

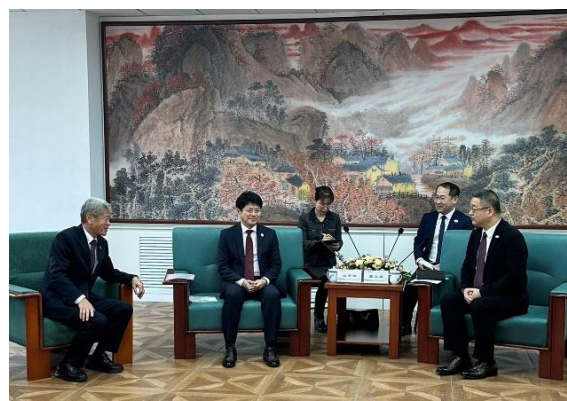
18日に開催された中日地方冰雪文化交流イベントでは、遼寧省各地および日本地方自治体から冬季産業について紹介がありました。同じ雪国である遼寧省と富山県の交流の発展に期待が感じられました。また会場外では、各地の冬季産業に関するパネル展示が行われ、靳国衛副省長や羽田次郎参議院議員等が順番に観覧されました。富山県からは大西大連事務所所長が県内の冬季観光地等について紹介しました。

同日の遼寧省国際貿易促進委員会や遼寧省人民代表大会への表敬訪問では、来年の友好県省締結40周年及び県議会・省人大友好交流締結20周年に向けてますますの交流発展、協力関係の強化を互いに確認しました。2019年以来、約4年ぶりの訪問ということもあり、両者ともに思い出話に花を咲かせました。

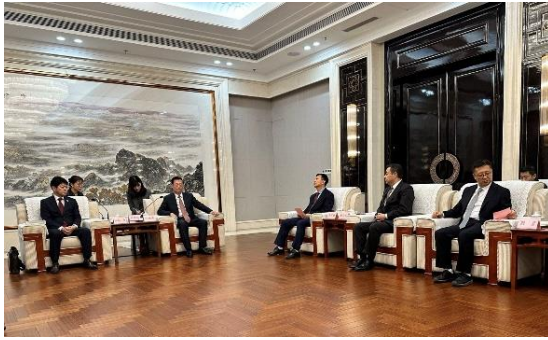
19日の富山ファン倶楽部大連分会では、遼寧ファン倶楽部世話人でもある山本議員と宮本議員が参加されたこともあり、双方のファン倶楽部世話人の交流が実現しました。他にも富山県産商品等が当たる抽選会や、参加者同士の積極的な交流も見られ、盛況に終わりました。



中日地方冰雪文化交流イベント



遼寧省国際貿易促進委員会を訪問



遼寧省人民代表大會との会見



富山ファン倶楽部大連分会
集合写真